

## 会報

No. 24 (第 1608 回) 2023 年 3 月 1 日 (水) 12:30~

第 2820 地区 大野治夫ガバナー 地区スローガン “enjoy life ~人生を楽しむ~”  
2022-2023 橋本壽郎会長スローガン 「楽しい奉仕活動で輪を広げよう」

### 本日のプログラム: 月間テーマ卓話

東海村水道事業ビジョン・経営戦略について  
外部卓話: 東海村水道課

### 2 月 22 日 例会報告(第 1607 回)

#### ◆ 幹事報告

報告者: 厚見和則幹事



ガールスカウトより、素敵なバレンタインデープレゼント



テーブルに配られていますお菓子は、ガールスカウトの皆さんからいただきました。

- 「2023-2024 年度ロータリー財団地区補助金管理セミナー」の登録料が理事会にて承認されました。  
※2023 年 3 月 4 日(土) 10:00~ ダイヤモンドホール 登録料 6,000 円 目黒社会奉仕委員長参加
- 次年度幹事の変更が理事会で承認されました。  
※次年度幹事が猪股真純会員から佐藤広道会員に変更となります。  
これに伴い委員会構成に一部変更が生じます。

- 2月26日(日)開催のIMについて送迎バスを手配いたしました。  
 ※東海駅西口 12:20 分発 大進電設(株) 駐車場 12:40 分発

## ◆ 出席報告

報告者:出席委員会 高阪裕二委員長

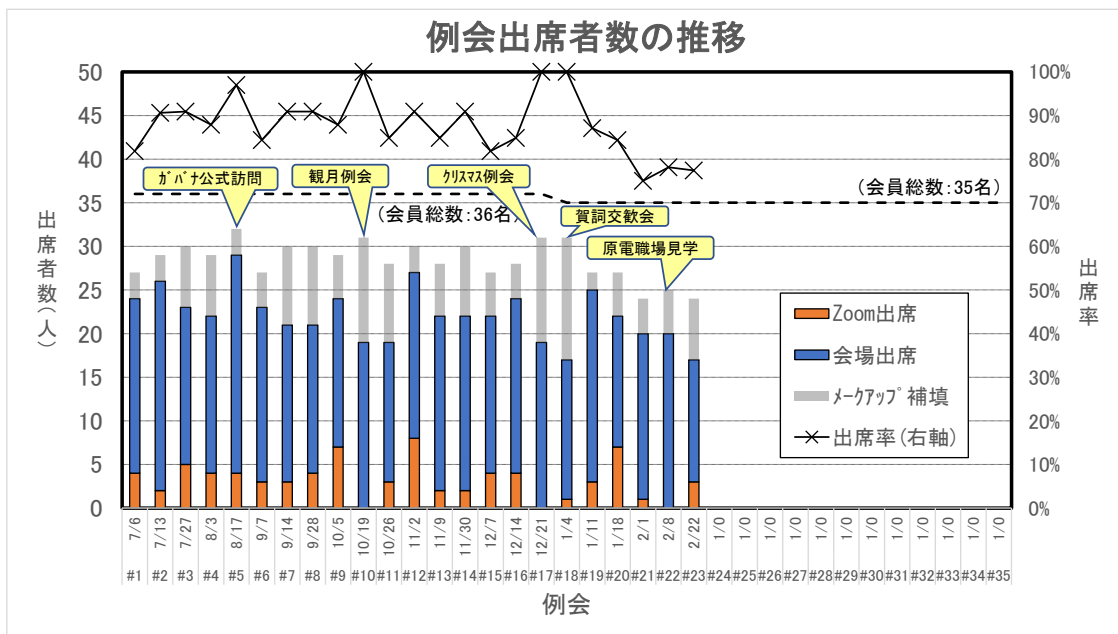


### ‘23年2月22日 例会

会員数	出席免除者数	対象 会員数	出席者	欠席者	出席率 (%)
35	5 内出席 1名	31	24	7	77.42

出席免除者(敬称略):下線は例会出席

清宮武雄、高橋 昭、中井英一郎、大部 泉、瀬谷利雄、



## ◆ ニコニコボックス

報告者:ニコニコボックス委員会 藤田明英委員長



### 『よろこびの言葉』

氏名	よろこびの言葉
橋本 壽郎	田中次期会長さん、宜しくお願ひします。
藤田 明英	ガールスカウトの皆様、バレンタインデーのチョコレート有難うございました。

## ◆ 委員会報告

報告者:指名委員会 石井秀明委員長



## 次期幹事変更のご連絡

次期幹事に変更がございますので、ご連絡致します

### 変更前

次年度 田中 宏和 会長エレクト  
次年度 猪股 真純 幹事エレクト  
次々年度 海野 宏幸 会長ノミニー  
次々年度 佐藤 広道 幹事ノミニー

### 変更後

次年度 田中 宏和 会長エレクト  
次年度 佐藤 広道 幹事エレクト ※  
次々年度 海野 宏幸 会長ノミニー  
次々年度 厚見 和則 幹事ノミニー ※

報告者：プログラム委員会 田中宏和委員長



2/1 の理事会において承認されたプログラムを印刷したものを例会場の各会員のボックスに入れましたので、ご確認ください。次回、3/1 の例会プログラムは、東海村水道課の方からの外部卓話で調整中となっておりますが、確定していますので、お知らせ致します。

報告者：田中宏和副会長

猪股真純会員から佐藤広道会員への次年度幹事交代を反映した次年度委員会構成案について、今週中にパスト会長の皆さんにメール送付して、ご意見を伺う予定です。3/1 の理事会においても説明して、特にコメントがなければ、3/1 の例会で公開したいと考えています。

次年度の地区研修協議会の登録締め切りが 3/13 となっておりますので、3/1 以降にこちらへの対応を行いたいと思います。



◆ 本日のテーマ：フォーラム クラブ定款及びクラブ規則改定案について

主催者：改訂作業タスクチーム



会長挨拶風景



改定内容の説明風景

説明資料は、本日の会報に掲載して頂いていますが、印刷物を例会場にある会員の皆さんのボックスにも入れましたので、ご確認ください。

細則の改訂では、実際の運用と細則での規定で齟齬がある部分についての見直しを行います。例えば、役員エレクトの交代について、現在の細則では「役員エレクトまたは理事エレクトが空席となった場合は、残りの理事エレクトの決定によって補充するものとする。」となっていますが、今回の次年度会長・幹事の件では指名委員会の石井秀明委員長にご尽力頂きました。このような部分を会員の皆さんのご意見を頂きつつ、改訂したいと思います。

(質疑)

Q(浦澤会員)：昨年の規定審議会で、会員がクラブの所在地に住居又は事業場を有する要件を削除する件が採択されましたが、これが実施されると、クラブの所在地域をクラブ定款で規定する意味がなくなるのではないのでしょうか。

A(田中)：個人的には、各ロータリークラブは、クラブ所在地に根差し、その地域の特徴を活かした活動を行っているので、所在地域を規定することは大切であると考えています。

A(橋本会長)：昨年行われた高橋賢吾パストガバナーによる「2022 年規定審議会結果報告会」においても同様の質問がありました。その際は、例えば、茨城県に住居と事業場を持つ経営者の方が、東京都内のロータリークラブの活動内容を知って、是非このクラブの会員になりたいと思っても、これまではそれが実現できなかったが、これからは、ロータリアンの推薦と当該クラブでの承認を得られれば、世界中どこのロータリークラブの会員になることができる。是非、所在地域外の方からも会員になりたいと思ってもらえるようなクラブを目指してほしいとの説明がありました。

以上

## ◆ 2月1日の水戸農業高等学校インターアクトクラブ卓話内容

こんにちは。水戸農業高等学校のインターアクト会長の菅野です。本日はこのような場にお招きいただきありがとうございます。僭越ながら年次大会の報告を含め本校のインターアクトの活動を紹介させていただきます。

8月21日、日曜日、新型コロナウイルス感染症の状況によっては対面での開催も危ぶまれていた中ではありましたが、2022-2023年度、国際ロータリー第2820地区第25回インターアクト年次大会が茨城キリスト教学園高等学校で開催されました。ホスト校の茨城キリスト教学園高等学校をはじめ、水戸女子高等学校、水城高等学校、つくば国際大学東風高等学校、茨城県立下館高等学校と本校を加え、合計6校の県内全校のインターアクターが集まり、「World Peace begins with us～世界の平和は私たちから～」というテーマで研修が行われました。

午前は、茨城キリスト教大学で教鞭をとるウクライナ出身のジャブコ・ユリヤ先生と留学生のマルタ・イリヨさんによる基調講演を聞きました。ウクライナから避難してきた方々のお話を直接聞いて、ニュースなどでは知ることのできなかつた現地の深刻さや、実際に経験した方々の思いを直ちに感じることができました。

午後は、韓国、ネパール、タイ、ポーランド、マダガスカルの計5カ国の方々のプレゼンテーションを聞きました。留学生だけでなく、それぞれの立場で活躍なさっている方々からそれぞれの国ごとの魅力や食文化など、我々が普段は知ることのできない貴重なお話を聞くことができ、とても良い経験になりました。

次に、2022年10月30日に行われた第7回水戸黄門漫遊マラソンボランティアです。私たちは3年生4名、2年生6名、1年生2名で参加しました。当日は朝の7時から準備のために集合し、水戸証券本社前で出場選手の皆さんへ給水のサポートをしました。今回の水戸漫遊マラソンは3年ぶりにコロナ禍以前のように開催され、全国各地から計8,000人もランナーが集まり水戸市内を廻るコースを走りました。ランナーの中には思い思いのコスプレをしている方もいて、コースや沿道を沸かせその場が賑やかになりました。私たちの担当したポイントはスタート地点のそばでした。そこで私たちはスタート前の準備やウォーミングアップをするランナーに給水のサポートをしたりスタート直後のランナーを送り出す際に応援をしたりしました。その差異ランナーに給水のサポートをし、声援とともに見送ることが出来ました。また、出場ランナーの中には本校教員も参加していたため、スタート前に逆に声をかけられたりするなど驚きもありました。

そして各年度から取り組んでいたことや以前から継続して取り組んでいたことについてもご報告いたします。私たち水戸農業高校インターアクトクラブでは、昨年同様に近隣の保育園で開催されている子ども食堂に協力しようとしたのですが、新型コロナウイルス感染症等の状況が思わしくないため実現できませんでした。また、例年開催されているゆたか保育園との園児たちとの芋掘り体験補助の活動についても同様の理由でさつまいもの収穫時期に実現できず残念な思いでいっぱいです。そして恒例となっていた茨城大学特別支援学校の生徒たちの農業体験につてですが、今年もネギの収穫など、色々と準備をしてきたのですが、コロナ禍と天候の影響もありすべてが中止になってしまいました。

現在、徐々にですが新型コロナウイルス感染症についてもさまざまな制限が緩和されつつあります。今後、本校インターアクトクラブとしても定期的な会合を開き、実現可能なことからコツコツと活動を積み重ねていきたいと思っています。その際には提唱クラブである東海・那珂ロータリークラブの皆様方のご助力を賜ることも多々、あると存じます。非力な我々ではありますが、これからも地域や本校のためにできることを奉仕の精神で取り組みたいと考えています。そのような時には皆様方のお力添えいただければ幸いです。

短くはありますが、以上が2022-2023年度、国際ロータリー第2820地区第25回インターアクト年次大会の大会報告兼私たち水戸農業高校インターアクトクラブの1年間の活動内容報告でした。ご清聴ありがとうございました。

## ◆ 会員よりの情報欄

※ 島田智和会員より可愛いお子さんの情報をいただきました。

### 子供の成長と共に取り巻く社会の変化について

まず初めに、昨年幹事を退任して以来ロータリー活動に参加できていないことを深くお詫び申し上げます。仕事の関係もございすが、昨年4月より愛娘が保育園に通うようになりました。季節柄、20日にいっぺん程の周期に決まって鼻水を垂らして帰ってくる日々が続いています。その2~3日後には親がうつされ多々苦しむ月もあり結果としまして、コロナ・インフルエンザ・ノロウイルス・風邪？・ウイルス性何とかかんとか……………に感染する機会が多くあり、感染対策の観点から遠慮させていただいているのが現状です。最近はその頻度も落ち着き家族共抗体ができてきたのか大分落ち着きましたが、コロナには恐らく3~4回はかかっていたのではないかと思います(笑)。気温が上がって落ち着きましたら馬力をかけて活動に参加していきますので皆様のご指導賜りますようお願い申し上げます。

さて、言い訳は程々に本題です。

令和2年10月26日に愛娘(紗綾・サヤ)が誕生しました。長年不妊治療の末、諦めかけた時の妻の妊娠に両家は歓喜に包まれました。しかしながら、コロナの序章期であり、ここまで社会が変化することは考えられなかったと思います。出産時はもちろんの事里帰り出産のため妻の実家(新潟県)外の人は乳幼児の免疫が安する1か月間は面会できないという程、世界がナーバスになっていたような気がします。今ではそこまでではないと思います。

当初コロナは子供にかかり難いとされてきましたが、株の変異につれ子供にも容赦なく襲い掛かってきました。保育園児も1~3歳ではマスクを嫌がりますので園児を介して感染が拡大していたのかもしれない。

そんな困難を乗り越えあつという間に言葉を話し、今ではたとえ話もするようになりました。同年代ではすでにタブレットで英会話を勉強している子もいるそうです。

世界では、戦争、先日起きたトルコの地震など罪もない子供が命を落とす報道を見ますと今まで以上に胸が締め付けられる思いです。その感情を抱く事は自分も人間としての階段を一段上がったような気にもなりました。おそらくどの親も思うのでしょうけれど、この子達が歳をとった時代が心配でいでもなりません。安定した日常に一刻も早く戻れますよう切に願っている毎日です。

暗い話になってしまいましたが、これからの世界を背負っていく愛娘写真を添付いたします。少しでも癒しになればと思います。

投稿者 島田 智和







◇ 募集中 ◇

会員よりの趣味の話、ペットの話等幅広く情報として提供いただき「会員よりの情報欄」を設けて、会員間のコミュニケーション向上を図るため情報提供時に、掲載することとします。  
皆様より、提供をお待ちしております。（会報委員会）

次回例会：3月8日（水）12：30～ 会員卓話④

ITコーディネータ茨城の活動紹介（大久保賢二会員）

例会を欠席する時は、必ず前日 12:00 までに事務局まで連絡のこと

クラブ会報委員会：委員長 富永康修／副委員長 桐嶋健二／委員 佐藤広道、橋本和一郎